

## 【聖書箇所 요약】

郷里ナザレの人々はイエス様がなされた奇跡の噂を聞いていました。しかし、「マリヤのむすこ」だという先入観に縛られ、その不信仰のゆえにイエス様はみわざを行うことができませんでした。

## 1. イエスにつまずく

### A. イエスの郷里ナザレ

- (1) イエス様が幼少期から公生涯に入るまで過ごした村
- (2) 「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」 (マタイ 2 : 23)

### B. 先入観

- (1) ナザレの人々にとってのイエスとは
  - ・大工
  - ・ヨセフとマリヤの子
  - ・兄弟姉妹を知っている } 「我々と変わらない普通の人間」
- (2) 事実と思い込み
  - ・人は信じたいことを信じる (例 : 宝くじと交通事故)
  - ・事実を集めて結論を出すか、結論のために事実を集めるか



●イエス様の郷里ナザレの人々は自分たちが知っていることにのみ重点を置き、新しく時代が変わった事実を目を背けました。強烈な先入観から解放されるためには、信頼できる人の言葉に耳を傾け、それに従う態度が求められます。

## 2. 驚き怪しむ

「イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた群衆の方に振り向いて言われた、『あなたがたに言うておくが、これほどの信仰は、イスラエルの中でも見たことがない』。」

(ルカによる福音書 第7章9節)

### A. ナザレの人々の不信仰

- (1) 聖書中、キリストが「驚く (θαυμάζω<sup>サウマゾー</sup>)」のはたった2回
- (2) 自分が見たもの、聞いたもの、知っていることを土台とする
- (3) 自分を中心とする態度

### B. 百卒長の信仰

- (1) 彼は権威に服従する者であった  
「わたしも権威の下に服している者ですが、わたしの下にも兵卒がいます、ひとりの者に『行け』と言えば行き、ほかの者に『こい』と言えばきますし、また、僕に『これをせよ』と言えば、してくれるのです」 (ルカによる福音書 第7章8節)



- (2) キリストの言葉に服する態度

「ただ、お言葉を下さい。」 (ルカによる福音書 第7章7節)

## 3. 信じる方向

### A. マイナスの信仰とプラスの信仰

- (1) 信じたごとく成る
  - ・絶対にならないというマイナスの信仰
  - ・必ずそうなるというプラスの信仰
  - ・力とエネルギーは同じで方向だけ違う
- (2) マイナスの信仰を持つ者の希望
  - ・徹底した訓練の結果、今の状態になったことを知る
  - ・方向が変われば強力な信仰者となる

### B. 方向転換をする決心

- (1) 悔い改めとは「考えの変化」
- (2) 今がプラス。そしてプラスからプラスへ
  - ・マイナスの方向に向かい、その実を結ぶ自分を責めない
  - ・力を貯めている自分を認める
  - ・自力を捨て、聖霊に従い、お任せする



神はマイナスの信仰の成果をプラスに転換することをお望みです。今あるあなたの姿でキリストに方向転換する時、全てが益と変えられます。

## — 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その22)

# プラスに進む秘訣

- 1 イエスはそこを去って、郷里に行かれたが、弟子たちも従って行った。
- 2 そして、安息日になったので、会堂で教えはじめられた。それを聞いた多くの人々は、驚いて言った、「この人は、これらのことをどこで習ってきたのか。また、この人の授かった知恵はどうだろう。このような力あるわざがその手で行われているのは、どうしてか。
- 3 この人は大工ではないか。マリヤのむすこで、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではないか。またその姉妹たちも、ここにわたしたちと一緒にいるではないか」。こうして彼らはイエスにつまづいた。
- 4 イエスは言われた、「預言者は、自分の郷里、親族、家以外では、どこでも敬われないことはない」。
- 5 そして、そこでは力あるわざを一つもすることができず、ただ少数の病人に手をおいていやされただけであった。
- 6 そして、彼らの不信仰を驚き怪しまれた。

(マルコによる福音書 第6章1節～6節)



2018  
10 / 24  
説教  
丸山 芳浩 師